

循環器内科

中国労災病院循環器内科アドバンスコースでは、指導医や研修医と行動を共にすることで実際の診療を実習します。しかし、実際の診療は皆さんの理解を超えるスピードで進行することが多いと思います。皆さんの積極性が実習の実りを高めるでしょう。

【実習目標】

1. コミュニケーションを通じ、患者および家族と良好な人間関係を築く
2. 実際の患者に接することで循環器内科を中心とした内科全般に関わる技能、思考法を身に付ける。とくに、問診、身体所見の把握は重要である。
3. **Problem oriented system (POS)**に基づき、受け持ち患者の問題点を把握できるよう努め、それぞれの関連性の有無を検討し、病状の全体像を理解する。
4. **EBM** について理解する。診療に必要な知識・情報を、適切に検索・収集する。

【注意事項】

1. 常に医療人を志す者としての節度ある行動を求める。
2. 守秘義務、個人情報の管理には常に留意すること。
3. 無断欠席、遅刻は厳禁。
4. 聴診器は必ず持参すること。
5. 評価は実習態度やレポートの内容により行う。

【実習内容】

1. 学生に対して研修医、スタッフ医、指導医が指導にあたる。実習初日に日々の実習予定をオリエンテーションする。担当研修医・スタッフ医が受け持つ症例のうち指導医が受け持ち患者を決定する。
2. 病棟実習、検査を主として実習する。病棟実習では担当研修医・スタッフ医について共に診療を体験する。

心電図、心エコー：2F 生理検査室、毎日午前中

心臓カテーテル検査：1F 心血管造影室、午後（ただし急患は随時）

心臓リハビリテーション：2F リハビリセンター

レントゲン、心臓 CT 読影：随時、およびカンファレンスを通じて行う

3. 心臓カテーテル検査では検査を通して清潔操作の基本、心電図モニターやバイタルサインの変化に注意しつつ処置を行うことの基本を実習する。
4. 受け持った症例のうち 1 症例についてレポートを提出する。最終金曜日に

指導医にプレゼンテーションし討論・総括する。

5. カンファレンスには必ず出席すること。受身での出席ではなく、**active** な発言を期待します。

毎日朝 8 時 ICU にてカンファレンスを行う。

毎週木曜日 5 時から心カテ所見、病棟患者さんについて、心臓血管外科医、**ME** 職員たちとともにカンファレンスを行う。

【実習責任者】 循環器内科部長 松田圭司 (PHS 8306)

わからないことは遠慮なく **PHS** かけてください。院内を探しまわることは時間の無駄です。